

# **個別事業説明書【PR版】**

**土 木 部**

# 1 クルーズ船受入環境整備事業費

松山港において、クルーズ旅客の利便性や安全性等の向上を図り、受入環境を改善することで、クルーズ船の更なる寄港を促進するため、地元市と連携して必要な備品の購入を行う。

お問い合わせ先  
 土木部河川港湾局  
 港湾海岸課  
 (089-912-2690)

指標

指標	施策	19 インバウンド誘客による国外からの活力の取り込み	現状値	203千人 (R5年)
		<b>KGI</b> 外国人延べ宿泊客数	目標値	360千人 (R8年)
指標	細施策	19-2 インバウンド誘客の促進	現状値	98千人 (R5年度)
		<b>KGI</b> 外国人観光客数	目標値	160千人 (R8年度)

## 事業イメージ

<b>KPI</b>	県管理港湾におけるクルーズ船受入時の港湾施設安全対策不備に起因する事故発生件数	現状値	0件 (R5年度)
		目標値	0件 (R6年度)

## 事業概要

- 1.対象港湾：松山港
- 2.整備内容：投光器4基の購入
- 3.負担割合：国1/3、市2/9、県4/9

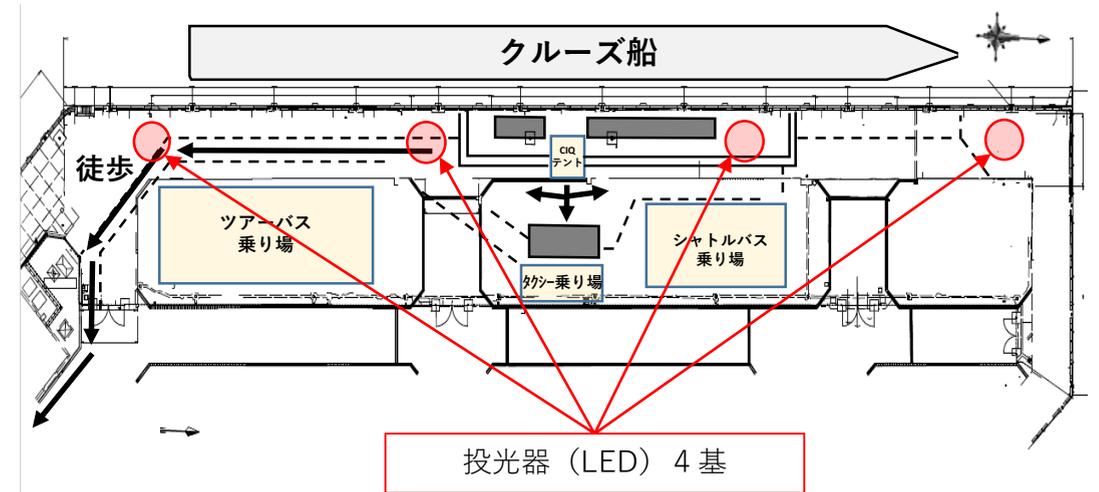
## 【現況及び課題】

- 松山港において夜間にクルーズ船を受け入れる際、岸壁やふ頭内が暗く、離着岸時に岸壁位置が判別しづらいほか、旅客移動時には動線が見えにくい状態にある。
- クルーズ船の早朝夜間における入出港が増加している。  
 (早朝夜間入出港回数：R5年度1回 ⇨ R6年度見込5回)
- クルーズ関係事業者から投光器設置の強い要望がある。



## 【事業効果】

- 投光器を購入、設置することにより、クルーズ船の離着岸時に岸壁が明示され安全性が向上するほか、クルーズ船出入口及び旅客移動用通路に配置することにより、乗下船並びにふ頭内の移動における安全性についても向上するため、受入環境が充実し、クルーズ船の寄港増加・定着が見込まれる。

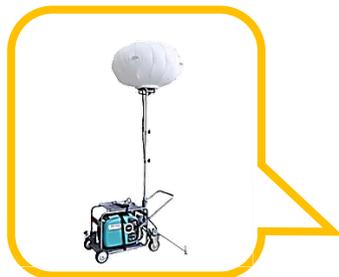


※上記はイメージ図であり、寄港船舶によって設置位置は変更する。

## 【参考：近年における松山港へのクルーズ船寄港回数】

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6(予定)	R7(予定)
寄港回数	2回	3回	6回	0回	0回	1回	5回	11回	15回

【投光器 (イメージ)】



【夜間係留写真】



## 2 県単独緊急防災・減災対策事業

切迫性が増している「南海トラフ地震」や近年、激甚化・頻発化する豪雨災害に備え、県民の安全・安心を確保するため、避難道路や河川、砂防施設等の整備を緊急に行う県独自の防災・減災対策を積極的に推進する。

お問い合わせ先

土木部道路都市局 道路建設課 (089-912-2710)  
 道路維持課 (089-912-2720)  
 土木部河川港湾局 河川課 (089-912-2670)  
 港湾海岸課 (089-912-2690)  
 砂防課 (089-912-2700)

指標

施策	26 公共施設の適正なマネジメント	KGI	県の管理する公共施設等の管理不備・老朽化に起因する重大事故発生件数	現状値	0件(R5年度)	目標値	0件(R8年度)
細施策	右表のとおり						
施策	29 大規模災害に備えたまちづくり	KGI	災害想定死者数	現状値	16,032人(H25年)	目標値	2,439人
細施策	右表のとおり						

事業イメージ

KPI 右表のとおり

現状値 右表のとおり  
 目標値 右表のとおり

### 激甚化・頻発化する大規模地震や豪雨災害



能登半島地震 令和6年1月



伊予市双海町 令和6年7月

○能登半島地震等を踏まえた交通網の整備

災害時に孤立集落等の発生のおそれがある県管理道路の改良・法面对策等

約20億円



法面工

○命を守る土砂災害対策の推進

砂防施設の整備や機能維持を行うための土砂撤去等

約7億円



除石工

○洪水に強い人命・財産を守る河川整備

治水対策、堤防補強等の地震・津波対策

約13億円

○津波や高潮に強い海岸施設等の整備

防波堤や護岸、岸壁等の施設の機能強化

約3億円

事業概要

細施策名・事項名【担当課】	予算額(千円)	事業の内容	細施策KGI・KPI
【細施策26-6】 港湾の適正管理			
港湾施設防災・減災対策事業費【港湾海岸課】	150,000	防波堤や浮桟橋等の港湾施設の補強、改良 弓削港(上島町)など16箇所	<b>KGI</b> 港湾施設の管理不備による港湾の利用(通常の荷役作業等)に支障を与えた件数 現状値 0件(R5年度) 目標値 0件(R8年度) <b>KPI</b> 港湾施設の補修進捗率(R10までに対策が必要な港湾施設の整備完了を目指す) 現状値 43%(R3~5年度累計) 目標値 88%(R3~8年度累計)
【細施策29-7】 河川災害の予防			
河川地震防災強化対策事業費【河川課】	460,000	機能低下箇所や重要水防箇所の護岸等の改修(二)中山川(西条市)など56箇所	<b>KGI</b> 河川整備率 現状値 46.0%(~R5年度累計) 目標値 46.1%(~R8年度累計) <b>KPI</b> 重要水防箇所解消率(2.3%/年増を目指す) 現状値 26.8%(H30~R5年度累計) 目標値 19.3%(H30~R8年度累計)
河川堤防強化緊急対策事業費【河川課】	70,000	堤防決壊等の危険箇所における堤防補強など(一)肱川(西予市)など6河川	<b>KPI</b> 対象区間の堤防補強等整備率(R7までの完了を目指す) 現状値 51%(R3~5年度累計) 目標値 100%(R3~7年度累計)
河川防災緊急対策事業費【河川課】	760,000	重要水防箇所等の河床掘削(二)山田井川(四国中央市)など88箇所	<b>KPI</b> 土砂堆積箇所実施率(70%/年以上を目指す) 現状値 78.9%(R5年度) 目標値 70%(R8年度)
流域治水対策推進事業費【河川課】	33,000	市と連携した治水対策の推進など(一)大堀川(宇和島市)など4河川	<b>KPI</b> 対象箇所のボルトネック解消工事進捗率(R6までの完了を目指す) 現状値 32.2%(R4~5年度累計) 目標値 100%(R4~6年度累計)
【細施策29-8】 津波・高潮災害の予防			
海岸施設防災・減災対策事業費【港湾海岸課】	104,000	浸水被害防止のための水門・陸間等の補修など 松前港(松前町)など13箇所	<b>KGI</b> 基準年から目標年に整備する海岸施設により高潮や津波浸水から守られる地域の面積 現状値 9,012ha(R5年度) 目標値 9,014ha(R5~8年度累計) <b>KPI</b> 海岸保全施設の補修進捗率(長寿命化計画における対策が必要な施設の整備率15.5%増を目指す) 現状値 27.6%(H30~R5年度累計) 目標値 42%(H30~R8年度累計)
【細施策29-9】 土砂災害の予防			
集落・避難路保全斜面地震対策事業補助金【砂防課】	134,500	市町が行うがけ崩れ防災対策事業の補助 天神上地区(内子町)など11箇所	<b>KGI</b> 土砂災害防止施設により土砂災害から保全される人家戸数 現状値 8,003戸(H25~R5年度累計) 目標値 9,508戸(H25~R8年度累計) <b>KPI</b> 集落・避難路保全斜面地震対策事業によって保全される人家戸数(37戸/年以上を目指す) 現状値 653戸(H25~R5年度累計) 目標値 764戸(H25~R8年度累計)
砂防施設防災・減災対策事業費【砂防課】	608,900	砂防設備等の機能維持など(砂)豊田川(伊予市)など52箇所	<b>KPI</b> 要対策箇所の修繕率(5%/年増を目指す) 現状値 37%(R1~5年度累計) 目標値 53%(R1~8年度累計)
【細施策29-11】 道路防災減災			
地震防災関連道路緊急整備事業費【道路建設課】	895,000	緊急輸送道路などの県管理道路の改築(一)一本松城辺線(愛南町)など51箇所	<b>KGI</b> 要対策箇所における対策完了率 現状値 67.2%(~R5年度累計) 目標値 69.0%(~R8年度累計) <b>KPI</b> 二次緊急輸送道路の改良率(0.2%/年増を目指す) 現状値 85.9%(~R5年度累計) 目標値 86.6%(~R8年度累計)
道路防災・減災対策事業費【道路維持課】	1,088,000	原発避難道路等の法面对策や路面補強など(国)197号(伊方町)など126箇所	<b>KPI</b> 防災点検における要対策箇所の解消率(1%/年増を目指す) 現状値 70%(~R5年度累計) 目標値 74%(~R8年度累計)